

『伊能忠敬研究』 第58号 目次一覧

■頁 表紙は -1、表紙解説・目次は 0 としています。
 ■凡 例 [ジャンル] ●=日記 ■=史料・資料 ◎=伊能忠敬 ○=周囲の人物 △=史跡めぐり
 [表 題] 《 》=誤記の訂正 例：伊能図探究 第一〇号 伊能図見て歩き (三) 《 (四) 正当》
 [] =内容の注記 例：伊能家文書紹介 十一 その二 枇榔嶋〔日向国臼杵郡〕

号数	ジャンル	番号	表題	著者	号-頁	発行日		
58号	表紙	1	表紙 伊能忠敬研究 二〇〇九年 第五八号 史料と伊能図	伊能忠敬研究会	58--1	20091130		
		2	表紙図解説 米国議会図書館所蔵 伊能大図第175号 三田尻 (部分)	鈴木 純子	58-0			
		3	目次		58-0			
	△史跡探訪	4	史跡探訪 8 浅草天文台 (頒曆所御用屋敷) 跡 江戸科学の拠点「浅草天文台」跡を訪ねて (すどう いくお・科学史学会関東支部長)	東京都府中市在住 首藤 郁夫	58-1			
		●輿地実測録 (大日本実測録)	5	「大日本沿海実測図」とともに上呈された『大日本沿海実測録』〔写真では『大日本実測録』大学南校〕 『大日本沿海実測図』〔正確には『輿地実測録』〕は『大日本沿海実測図』〔正確には『大日本沿海輿地全図』〕大・中・小図 (最終上呈版伊能図) の付録として文政四年 (一八二一) に地図と合わせて幕府に上呈された。明治三年 (一八七〇) には大学南校 (東京大学の前身) から、「図」 (便覧) を除く十四巻 (首十一三巻) が『大日本実測録』として木版刷りで刊行されている。印刷本の原本は旧福井藩松平家所蔵の写本で、誤脱が少なからずあるとされる この印刷本の全文は国立国会図書館近代デジタルライブラリーで閲覧ができる (鈴木 純子)	鈴木 純子		58-2	
	話題 I		6	伊能忠敬の全業績が埼玉に集結 「完全復元伊能図全国巡回フロア展 in さいたま」 完全復元伊能図 全国巡回フロア展 in さいたま	編集部 (埼玉新聞)		58-4 58-5	
			話題 II	7	「伊能忠敬と金沢八景」 神奈川県立金沢文庫 「金沢歴史散歩」パンフレット 金沢八景 歌川広重画 武州金澤擲筆山地藏院能見堂八景之畫圖 鎌倉繪圖 (おおぬま あきら・マネー&キャリアマネジメントアドバイザー)		大沼 晃	58-6 58-8 58-10 58-11 58-13 58-14
	8	入船山記念館蔵「浦島測量之図」に描かれた風景を具体的に特定		(読売新聞)	58-15			
	●伊能大図総覧	9		伊能大図総覧の地名と景観 (十二) 伊豆七島 大島 三宅島 利島・新島・式根島・神津島・御蔵島 八丈島 (ほしの よしひさ・代表理事・(社)日本測量協会副会長)	星 埜 由尚		58-16 58-18 58-19 58-22	
		話題 II		10	案内板 「天文台跡」 台東区浅草橋三丁目		台東区教育委員会	58-23
				11	「日本科学史学会」から表彰 表彰状をいただいて		首藤 郁夫	58-23
			12	続・伊能図の楽しみ方体験記 浮島ヶ原自然公園を訪ねて (おおぬま あきら・マネー&キャリアマネジメントアドバイザー) 「浮島ヶ原自然公園」 大沼晃さんが描いたイラストマップ	大沼 晃		58-24 58-25	
		新刊紹介	13	酒造家「伊能三郎右衛門家」 (わたなべ いちろう・名誉代表)	渡辺 一郎		58-26 58-27	
	14		松尾卓次 (島原史談会会長) 監修 『図説 島原半島の歴史』 長崎県教科書 (株) 発売 郷土出版社発行		58-27			
			15	おだ掛け 山武市埴谷	江口 俊子・画		58-27	

号数	ジャンル	番号	表題	著者	号-頁	発行日
58号	◎芳名録より	16	芳名録より～番外編～佐原伊能家の人々	伊能 陽子	58-28	20091130
			東京麹町区三年町〔現千代田区霞が関三年坂あたり〕の佐野常民家で行儀見習していた娘〔五人姉妹の三女りつ〕への手紙〔差出人は、佐原町伊能源六となっている〕	佐原の母 伊能ヒサ	58-28	
	◎石谷春香レポート	17	研究レポート『伊能忠敬』（八） 忠敬の見た風景（その二）	石谷 春香	58-30	
			8 二宮町		58-31	
			9 大磯町		58-33	
			10 平塚市		58-34	
			11 茅ヶ崎市		58-36	
			12 藤沢市		58-38	
			江の島の民宿海上亭 2泊目 湯河原から62.90km (いしや はるか・文教大学付属高等学校一年)		58-41	
	◎柏木家資料	18	柏木家に残された忠敬資料（四）	柏木 隆雄	58-42	
七、司馬江漢の『地球全図略説』			58-46			
八、江漢と忠敬 (かしわざい たかお・税理士・作詞家)			58-47			
研究ノート	19	梵天を立てた所は三十万から四十万箇所 伊能忠敬測量隊の全国測量	佐久間 達夫	58-48		
		三宅島神着村付近の下絵図		58-54		
		伊能大図の下絵図・三宅島 (さくま たつお・伊能忠敬研究家)				
		20 名著『伊能忠敬』－その時代と人脈（二）			前田 幸子	58-55
	渡辺洪基－地学協会の創始者・国家学の伝道師	58-57				
	東京地学協会－遺功表建設に四、三九二円集めた貴顕の団体					
	北白川宮能久親王〔明治天皇の叔父〕－東京地学協会初代社長になった異色の宮様					
	榎本武揚－箱田良助の二男にして東京地学協会副社長・大臣					
	菊池大麓－教科書の国定化を断行した伝説の大秀才		58-58			
	三井八郎右衛門高棟〔たかむね〕－帝国学士院に二千元寄付した三井財閥の総領					
團琢磨〔津田梅子らと渡米し七年間留学〕－長岡半太郎の師・長男に「伊能」と名付けた三井の大番頭〔伊能の長男が作曲家團伊玖磨（いくま）〕 (まえた こうこ・地方公務員)	58-59					
◎伊能塾講座	21	講演二 「大野弥三郎の墓を訪ねて」 第四回例会（十月十八日実施）再録	鈴木 純子	58-60		
		一、荻原哲夫さん作成のCD「あっ！と驚く弥三郎～」				
		二、大野弥三郎規周〔のりちか。弥三郎の孫〕という人物				
		三、弥三郎規周の大きな墓				
		大野規周の死亡記事（時事新報） あつと驚！弥三郎！大野規周の墓 大野弥三郎規周の肖像と署名		58-61		
九州支部だより	22	第七回「伊能忠敬献花の集い」開かれる (いしかわ せいいち・九州支部長)	石川 清一	58-62		
		23 「地図展2009 in北九州」開催される (いしかわ せいいち・九州支部長)		58-63		
	24 佐賀県立図書館蔵「伊能大図」を一般公開 (ばばりょうへい 塚崎・唐津往還を歩く会事務局長)	馬場 良平	58-63			
新潟支部だより	25	大滝教頭先生『わが故郷の忠敬測量物語』 平成21年12月20日 村山市立上海府小学校 大滝友和	垣見 壮一	58-64		
		発刊のことば (かきみ そういち)		大滝 友和	58-64	
		58-64				
忠敬談話室	26	① 安積疎水の標石発掘	須賀川市在住 松宮 輝明	58-65		
		27 ② 所沢市民大学「佐原町巡り」講師体験記 講師として伊能陽子が招かれて居たが、体調を崩し、急遽八十七歳の私にお鉢がまわって来ました〔伊能洋氏の姉上〕		所沢市在住 井上 靖子	58-66	
		28 ③ 間宮海峡発見二〇〇年祭の報告		水戸市在住 川上 清	58-68	

号数	ジャンル	番号	表題	著者	号-頁	発行日	
58号	忠敬談話室	29	④ 先祖の故郷・佐原を訪ねる〔琴の嫁ぎ先の松田家の子孫〕	福岡県田川郡在住 奥永 渚	58-69	20091130	
		30	⑤ 私の主張「伊能大図歩いてみよう」	武雄市在住 馬場 良平	58-70		
	訂正	31	訂正 前号57頁 ゴロヴニンの肖像画の写真が表裏反対 勲章の大綬は右肩→左腰に、副章は左肋に帯びる（日本の金鷄勲章のみは、大綬、左肩→右腰）	横須賀市 白根 貞夫	58-71		
	会員便り	32	お便りから		58-71		
		33	佐原古文書学習会 〔三十五周年〕 四〇〇回記念文集 二〇〇九年六月 在りし日の小島一仁先生を囲んで	香取市 成家 淑子	58-71		
	例会報告	34	例会報告～第五回～		58-72		
	日々の話題	35	日々の話題		58-72		
	忠敬談話室	36	お知らせ		58-72		
	奥付	37	研究会案内・投稿規定・HP・編集後記（M）		（M）		58-73
			井上ひさしの故郷、山形県川西町の「遅筆堂文庫」を訪ねた（氏の蔵書二二万冊を収蔵）。一番驚いたのは、『四千万歩の男』執筆のため、『測量日記』を原文（毛筆）のコピーで読んでいたこと。佐久間先生の活字本より一〇年以上も早い。「遅筆堂井上ひさし」は、全然遅筆ではない				
38			2009年11月30日発行 発行 星埜 由尚 伊能忠敬研究会	編集 前田 幸子 発行 星埜 由尚	58-73		
		39	裏表紙（英文目次）		58-74		